

第 17 回 通常理事会 議事録

(2023-2024 年度 第 17 回)

日 時：令和 6 年 10 月 17 日（木）15：00～17：30

会 場：神奈川県建築士事務所協会会議室 および WEB 会議システム（ZOOM を利用）併用

○	平山 正義	○	山口 英生	○	小松 正道	○	山口 雄	○	古室 大悟	○	白川 幹	×	鈴木 武昭
△	有泉 絵美	×	名和 靖晃	○	永島 優子	○	鈴木 興	○	長友 寛昌 WEB	○	古谷 雄一	×	高橋 康
○	大和田 優 WEB	○	福田 亮一	×	田中 正幸	○	矢野 高 WEB	×	奈良 直史	○	伊藤 耕人 WEB	○	杉本 勝郎
○	佐藤 眞吾	○	松井 正	×	渡邊 靖	○	小泉 厚	○	山中 信悟	○	酒井 弘幸		
	監事	○	平野 武洋	○	山本 敏夫	○	棕 茂廣				日事連副会長	○	白井 勇
(事務局)磯部事務局長、野口総務課長、 小林業務兼登録課長								議事録作成者：酒井専務理事 (事務局)磯部					

出席者：21 名（△は定足数確認時に不在）

司会：古谷総財務委員長

- ・平山会長挨拶
- ・定足数の確認 27 名中（ 20 ）名出席。過半数出席のため定款第 43 条により会議成立を報告。
- ・定款第 47 条により議事録署名人は会長と出席した監事とした。
- ・定款第 42 条により会長が議長となり議事を行う。

1 審議事項

第 1 号議案 会員の入会等について承認を求める件

資料 1-1 により、磯部事務局長から以下の通り説明。

- ・正会員の入退会 なし

現在会員数 742 社。

- ・賛助会員の入会

株式会社サニックスエンジニアリング

- ・賛助会員の退会 なし

以上 1 社の入会を承認。入会 1 社、退会 0 社、現在会員数 9 9 社。

第 2 号議案 理事会への理事以外の参加について承認を求める件

資料 1-2 により、古谷理事から以下の通り説明。

定款施行細則第11条の「その運営にあたり必要な者の出席を求めることができる。」について、以下を想定し、委員会報告など、決議等を要しない場面での理事以外の理事会参加について、スムーズな運用を可能とするため、以下のように取り扱いたい。

- ①委員会報告等で、委員会担当理事が欠席の場合の参加
- ②日事連役員等の参加
- ③理事会等の仕組みを多くの人に知って頂くための参加

○定款施行細則第 1 1 条の「その運営にあたり必要な者の出席を求めることができる。」の運用については、次の通り取扱うこととする。

- ・理事が必要と認める場合は、報告等に必要な委員等の出席を認める。
ただし、出席者は守秘義務があること、及び審議の場での発言は出来ないこととする。

<意見等>

- ・発言しても良いのでは。

以上、原案を以下の通り修正し、承認された。

- ・理事が必要と認める場合は、報告等に必要な委員等の出席を認める。
ただし、出席者は守秘義務があることとする。

第 3 号議案 神奈川県建築会議・日本建築学会神奈川支所主催「山本理顕氏プリツカー賞受賞記念講演」の実施について承認を求める件

資料 1-3 により、古谷理事から以下の通り説明。

日 時：2024 年 12 月 20 日（金）17:00～19:00
会 場：神奈川県民ホール 小ホール（定員：420 名）
参加費：無料（先着順、締切 11/30）

懇親会：19:30～21:00
会 場：マリンタワー3F（定員：100 名）
会 費：10,000 円（当日現金払いにて）

以上、原案通り実施が承認された。

実施に伴い、運営協力を総財務委員会（2 名）、業務支援委員会（2 名）で対応する。

また、理事、監事、支部長、委員長、相談役・参与、令和会の皆様には別途案内を送付しますので、懇親会への参加協力をお願いした。

第4号議案 加瀬ビル201地下会議室の一部退去について承認を求める件

資料3-4により、古谷理事から検討事項で説明した内容について、審議事項としたことを説明。

以上、原案通り、地下会議室の一部解約について承認された。

2 報告事項

第1号報告 会員入会等の報告

資料2-1により、磯部事務局長が報告。

- ・正会員の入会 () は指定代表者名
横浜支部 ナイス株式会社プレカット一級建築士事務所 (原 俊介)
横浜支部 皆川一級建築士事務所 (皆川 明慶)
- ・正会員の退会 () は指定代表者名
川崎支部 合同会社伊藤潤一建築都市設計事務所 (伊藤 潤一)
県西支部 OCHOUSE 設計事務所 (鴛海 幸司)

以上、入会2社、退会2社 会員数742社

- ・賛助会員の入退会 なし 会員数98社

第2号報告 前市長による公共施設関連工事のやり直し指示に関する第三者調査業務委託に係る会員の推薦報告 (正副会長専決)

資料2-2により、前年度実施した内容の追加調査であり、前回同様の方を推薦頂きたいとの意向が示されたこと及び回答期日の関係により正副会長の専決事項とし、以下の者を推薦したことを磯部事務局長が報告。

推薦者：梅澤 典雄 様 (鎌倉支部 梅沢典雄設計事務所)

第3号報告 第66回神奈川建築コンクール協賛者賞の選定報告 (正副会長専決)

資料2-3により、前回理事会において正副会長の専決事項とさせていただきました結果、以下の通り選定したことを山口英生副会長が報告。

住宅部門を審査したが、いずれも良い作品なので、見学会を実施したい。

<住宅部門>

作品名：湯河原の擁壁 受賞者（施工者）：瀬戸建設株式会社（県西支部）

作品名：鵜沼の家 受賞者（施工者）：瀬戸建設株式会社（県西支部）

＜一般建築物部門＞

作品名：ミュージックテラス（Kアリーナ横浜・ヒルトン横浜・Kタワー横浜）

受賞者（設計者）：鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所

作品名：横浜コネクトスクエア

受賞者（施工者）：鹿島建設株式会社横浜支店

受賞者（施工者）：大洋建設株式会社

第4号報告 改正建築基準法・建築物省エネ法の円滑な施行に向けた建築士サポート体制に係る業務契約締結の報告（正副会長専決）

資料 2-4 により、契約締結日の関係により正副会長の専決事項とし、一般財団法人日本建築防災協会と業務契約を締結したことを山口雄副会長が報告。

契約日：令和6年9月30日

委託期間：令和6年10月1日から令和7年3月31日

業務内容：「サポートセンター事務局」を構成し、以下の内容を実施する。

1. サポート事業実施に向けた体制構築
2. サポート業務の実施を通じた個別サポート状況の報告
3. 必要に応じ、事前電話サポート

予定数量：サポート件数 225 件を上限とする。

ただし、原則として2月末時点における件数を150件とする。

契約単価：1. サポート事業実施に向けた体制構築に係る費用：650,000 円（税込）

2. サポート業務の実施を通じた個別サポート状況の報告に係る費用は、サポート実施件数に応じて以下のとおりとする。

サポート員・事務員の人件費：18,950 円（税抜）/件

（利用した場合）交通費：2,273 円（税抜）/件、貸会議室：1,000 円（税抜）/件

3. 事前電話サポートの有無 有（有の場合は250,000 円（税込））

・当会の実施内容等については、次回理事会において説明することとした。

第5号報告 マンション等の大規模修繕業務特別委員の辞任報告

資料 2-5 により、8月30日付けで委員が辞任したことを鈴木與理事が報告。

委員名：丸山 浩 様（平塚支部（株）マルナカ一級建築士事務所）

第6号報告 「かながわヘリテージマネージャー養成講座」実施における当会会報誌記事使用承諾の報告（正副会長専決）

資料 2-6 により、かながわヘリテージマネージャー協会から依頼があり、記事使用日の関係により正

副会長の専決事項とし、以下通り承諾したことを磯部事務局長が報告。

使用条件：2013年3月号（5～6ページ記事）

「町並み散策ぶらり in 神奈川 ー秦野四つ角周辺ー」の使用（プロジェクター投影）
その他のページは試用しないでください。

第7号報告 建築士事務所登録（9月）の報告

資料 2-6 により、磯部事務局長が以下の通り報告。

<新規登録事務所>

9月 一級：15件、二級：2件、木造：0件

<更新登録事務所>

9月 一級：36件、二級：13件、木造：0件

<登録証明発行>

9月：35件

以上、9月手数料収入合計：995,000円。

<変更>

9月 一級：71件、二級：20件、木造：0件

<廃業>

9月 一級：13件、二級：4件、木造：0件

<期間満了抹消>

9月 一級：1件、二級：1件、木造：0件

<閲覧> 9月：3件

3 検討事項

（1）2026年度 設立50周年記念の実施に向けた対応について

- ・資料 3-1 により、古谷理事から以下の通り提案を説明。

○進め方

（案1）準備委員会を設置して進める。

- ①11/21 理事会で「準備委員会」の設置と委員（構成メンバーB）の募集を提案
承認後メンバー募集（各ブロックへ推薦依頼 理事会終了後から12月9日まで）
- ②12/19 理事会で推薦された構成メンバーBを承認
※構成メンバーAは、準備委員会をサポートする。

- ③検討内容の①②③を決定する。
- ④2025年4月 実行委員会を設置

(案2) 理事会で進める。

- ①11/21 理事会で「実行委員会」設置と委員（構成メンバーB）の募集を提案
承認後メンバー募集（各ブロックへ推薦依頼 理事会終了後から12月9日まで）
- ②12/19 理事会で推薦された構成メンバーBを承認
※構成メンバーAは、実行委員会をサポートする。
- ③検討内容の①②を決定する。

1 実行委員会の構成イメージ

- 式典部会 ・既存委員会で担当（総財務委員会、ブロック支部委員会）
- 記念誌部会 ・既存委員会で担当（会報誌編集特別委員会、広報情報委員会）
- 記念事業部会 ・新規にメンバーを募集

2 検討内容

- ①事業の目的、スキーム、骨格の決定
- ②テーマの決定、外向き、内向き、規模感などの決定
- ③実行委員会メンバー選出方法の決定

3 構成メンバー

- A：40周年の経験者からの振り返りやサポート
・進め方が決定されたら経験者へ協力を打診し、12/19 理事会で協力者を承認
- B：若い人、従業員（次の体制への種まき、きっかけづくり）
・各ブロックからの推薦

(ご意見等)

- (古室)・案1が良い。若い人中心で進めてもらうことを念頭に開催し、経験者や理事会もバックアップし、サポートする。
- (福田)・どこを向いて実施するのか。会員向け、日事連向け、入会につなげるため（会員増強）事業部会が大事なので、若い人に担って頂きたい。進め方はどちらでも良い。
- (杉本)・案1のように、別組織で進めた方が良い。理事会はバックアップしていく。
- (小泉)・準備委員会が良い。実行委員長の人選が大切。過去を見ると、副会長で後々会長となっていた。（将来を担う人。）Aのサポートは良い。時期、スケジュールは、検討しても良い。
- (山中)・案1が良い。自由な意見で進めた方が良い。
- (有泉)・委員になる人としては、コンセプトも決まっていないので、「無責任であると思う人」又は、「自由で良いと思う人」の二通りが考えられる。
引っ張っていく人が大切。準備委員会にファシリテーターが必要。
- (松井)・リーダーは、次世代を引っ張って行く人が良い。ただ、50周年は区切りなので、自分自身で何が出来るのかも並行して考えることが必要。会員増強としては、会員のための考えは大切。指導委員会でも若い世代への継承をし、活性化を図っていきたい。
リーダーの決め方については、三役決定で良い。
- (白川)・理事会では無理がある。人数的にも難しい。

方向性、目的（何のためにやるのか）は、理事会で決めた上で準備委員会へ落とす方が良い。
実行委員会の委員等が10名いるのであれば、準備委員会は不要では。

（永島）・案1で進める方が良い。方向性、テーマを与えられた方が進めやすい。

若い人の発掘。（本会、支部にも顔を出していない人を引き上げるやり方が良かった）

（佐藤）・案1が良い。会員増強は大きなテーマなので、非会員に向けてPR出来る形で進められれば。
各支部、ブロックの協力が重要。色々な意見を吸い上げること。構成員は、若い人で良い。

（長友）・案1が良い。理想は、腕力もあり、バランス感覚の優れたリーダーがいれば解決する。
誰かは不明。

（伊藤）・コンセプト、テーマから決定した方が良いと思う。準備委員会設置の方が多様な意見が出る
と思う。テーマは大事なので、準備委員会で案を出して頂く。

（矢野）・案1が良いと思う。

（大和田）・基本的には長友理事と同じ。40周年の時に副実行委員長をやった経験から。

会長に指名されて実施した。各ブロックから人選をすること。大々的にやることが指示された。
時間的にも、準備委員会＝実行委員会になるのではないか。時間がかかる、1年以上の
準備期間が必要。規模感、どこに向けて実施するのかを正副で決定し、2～3名を指名して
実施した方が良い。

（平野）・案1で良いのでは。これからの次世代につなげていく。若い人たちの考えを見たい。
理事会主導では、全て決まってしまう。方向性も含め、若い人が入会するような素敵なものを
期待。

（山本）・色々な考えがあると思う。

（棕）・40周年を経験したが、テーマは大切。50周年なので、反省と将来について、がテーマでは。
正副会長からやりたいことを与えた方が良い（提案型）。それについて考えて頂ければ、色々な
案が出てくる。意思表示は大切。神事協の将来をどうしたいのか。

（白井）・40周年は、日々の業務の中で段々を決まっていた。会長より実行委員長の指名を受けた。
各委員会への依頼。若い人と議論する場を作った。コンペの話も出ていた。補助金の活用も検
討した。新しい人たちが出てくる機会にするためにも、場を設けることが大事。推進するため
には、コアメンバーで案を作って、理事会で承認する形が良い。新しい手法でも良い。

（小松）・案1で良い。他の会でもそのような形が多い。

（山口英生）・BIMコンペは、何も決まっていない所から始めた。

若い人が集まっているだけでは無く、人を引っ張っていける人が必要。

内輪で盛り上がりながらも良いと思う。最近の新入会員は、仲間づくりやリタイア組が多い。

（古谷）・準備委員会＝若い人だけでなく、中堅クラスも必要。

準備委員会の構成は、何名を想定するのか。（10名前後）正副も含めるのか。

委員推薦のイメージは、各支部から一本釣りする。

テーマは、会長より提案し、料理は実行委員会で。

（鈴木與）・どこに向かっていくのか。（国、行政、市民）会長の考え方は。

（会長）・節目なので、しっかりとしたアピールはしたい。テーマそのものを紡ぎだす。

BIMコンペの神奈川県版の実施も面白い。若い人向け、神事協の持続可能性。

（山口雄）・案1で良い。

以上のご意見等を踏まえ、正副会長で案を作成し。11月の理事会で検討したい。

目標は年内で設置したい。

準備委員会を設置した場合、各ブロック（8名）への推薦依頼は、どのようになりますか。

→ 人選の準備はして頂きたい。（次世代の子とも考えて）

(2) 次年度役員改選への取組について

- ・資料 3-2 により、古谷理事から推薦スケジュールを以下の通り説明し、確認した。

推薦方法：1～3月の理事会で本会推薦理事を承認し、各ブロックにお知らせする。

<役員推薦スケジュール>

(1月理事会)

- ・1月1日現在の各ブロックに所属する正会員数を勘案し、ドント方式で各ブロックの理事数を事務局で算出し、「理事・監事・常設委員等ブロック枠候補者数について」理事会上程し、承認後に各支部長へ推薦依頼。(4月中旬までに推薦)
- ・検討事項として、「理事会推薦理事の推薦基準(内規)」に基づき、理事へ候補者の提案を依頼。(2月理事会の10日前までに案を提出すること。)

(2月理事会)

- ・検討事項として、理事から提案頂いた候補者を確認。
候補者が5名を超えていた場合は、調整して次回理事会で上程。
(候補者へ推薦について、事前に承諾を得ること。)

(3月理事会)

- ・理事会推薦候補者を上程する。承認後、所属ブロックの支部長へお知らせする。

(4月)

- ・各ブロックから役員候補者の推薦。

(5月理事会)

- ・定時総会開催及び付議案件について上程。(役員候補者：ブロック推薦理事と本会推薦理事)

(3) 神奈川県建築会議 委員推薦依頼への対応について

- ・資料 3-3 により、古谷理事から以下の通り説明。

神奈川県建築会議は、2006年に設置。構成団体：建築士会、建築家協会、事務所協会
令和6年9月20日開催の総会において、「神奈川県建築会議規約」を改定し、役員に幹事が追加された。また、既存委員会が廃止され、新委員会が設置されたことに伴う推薦依頼があったため、本日検討事項として提出した。

役員会 「幹事」 3名以内	①3会で共有する上位概念について ②資格制度について ③建築設計界の将来を考える
防災・災害対応委員会 3名以内	災害対応について
情報企画委員会 3名以内	講習会・講演会等の情報共有、共催等について

<役員会>

- ①3会で共有する上位概念について

- ・ 3 会の共通の概念を共有し、建築設計界の将来の為に 3 会がまとまって世の中に発信し、設計界を取巻く社会環境を変えていく
- ・ 建築設計界及び各会の発展のため、お互いの理解を深める
- ・ 次世代をつなぐ、育てる

②資格制度について

- ・ 建築家、建築士、建築士事務所の地位向上
- ・ 実態に資格制度の構築
- ・ 一般の人（国民、県民、特に若者）に分かりやすい制度の構築

③建築設計界の将来を考える

- ・ 建築家、建築士、建築士事務所各々の将来を考え、発信することで若者への理解を深める

<防災・災害対応委員会>

①災害対応について

- ・ 県民の安全を守る為に、災害時の有効な対応策を準備する。
- ・ 災害時には公的機関、地域団体との協働が必要なため、その方法等を準備又は体制を構築する。

<情報企画委員会>

①講習会・講演会等の情報共有、共催等について

- ・ 各会会員の利便性を高める
- ・ 運営の効率化を図り、運営負担を軽減する。
- ・ 各会の会員増強及び会員の研鑽に貢献する。
- ・ 各会の社会的認知を高める。

以上、推薦方法については、正副会長より打診し、案を作成し、次回理事会へ上程することとした。

（４）加瀬ビル 201 地下会議室の一部退去について

- ・ 資料 3-4 により、古谷理事から以下の通り説明。

- 1 退去の理由：現在の使用状況等を踏まえた、費用削減のため（約 40 万円/年の削減）
- 2 退去の対象：B102（地下階、奥の部屋）
- 3 退去の時期：退去することが承認された後、現在保管する資材等が整理でき次第、速やかに

<参考>

地下会議室（2 部屋分）の利用状況

*利用内容：委員会会議、資材・備品や過去の会計帳簿等の保管など

*地代家賃：33,000 円（税込）/月×2 部屋＝792,000 円/年 ※別途電気代

*2023 年度における会議等の使用回数 → 年間 13 回

04 月：2 回 07 月：1 回 10 月：0 回 01 月：2 回

05 月：1 回 08 月：1 回 11 月：3 回 02 月：2 回

06 月：0 回 09 月：0 回 12 月：1 回 03 月：0 回

以上、意見等を募集したが意義が無かったため、本日の審議事項に追加することを提案し、了承

されたため、第4号議案とした。

(5) HPデザインの検討及び決定プロセスについて

- ・資料3-3により、白川理事から以下の通り説明。

神事協ホームページ改訂にあたり、HPトップページのデザイン案3案の提出がありましたので、以下についてのご意見を頂戴したい旨を説明。

1. HPデザイン案3案への意見について

HP制作会社よりトップページについてデザイン案が3案、提出がありました。

昨日開催した広報情報委員会でも各種賛否意見がありました。

案の絞り込みや更なる修正事項の整理のため、理事会でもご意見を頂戴したく、ご検討お願い致します。





<ご意見等>

- ・使用している色が多い。テーマカラーは決めた方が良い。
- ・イラスト入りのC案が市民向け。
- ・将来性としては、C案が良い。(子ども目線で)
- ・写真は色々の方が良い。
→ 後で提案させていただきます。
- ・B案、C案にある「未来につなげる神事協」のロゴがダサい。
- ・50周年の時には変更(改訂)できるのでしょうか。

以上のように、多様な意見が出ると思われるため、委員会に一任し、決定して頂くこととした。

2. HPデザインの決定プロセスについて

上記のご意見を整理しながら、案の絞り込みと修正事項の整理を行う必要があります。

案の絞り込みにつきまして、どのような決定プロセスとすべきかご意見を頂戴したく、ご検討お願いいたします。

- ・こちらも広報情報委員会へ一任することとした。

3. HP トップページ写真の提供依頼について（オール神事協）

現在の案ではみなとみらいの風景写真となっていますが、ここの写真について、「神奈川各地の建築と風景」として、神奈川県各地をアピールする場としたいと考えています。

つきましては、各支部にて「支部各地のおすすめの建築と風景」の写真撮影、ご提供頂きたいと思っております。

本案にご賛同いただけましたら、広報情報委員会にて写真の募集を進めて参る予定ですが、ご検討お願いいたします。

- ・依頼方法等は、広報情報委員会で検討頂き、実施することとした。
写真サイズについては、ホームページ会社に確認することとした。

4 各委員会報告等

①委員会報告

- ・資料 4-1 等により各委員会から報告された。

総財務委員会：10/3

業務支援委員会：10/4・講習会実施関係について

広報情報委員会：10/16・プライバシーポリシーの改訂と個人情報に関するセミナー実施を検討。

ブロック支部委員会：9/28・ボウリング大会実施。新規開設講習会 5 名参加。

スポーツ大会の実施は、支部の負担が大きいとの話が上がっている。

法制委員会：開催なし

指導委員会：10/10・3/13 講習会実施予定。

青年部会運営委員会：9/20・10/5 O C N 実施

建築物耐震改修評価特別委員会・専門員会：開催なし

「住・緑・家」運営特別委員会：10/8 町内会館コンペ実施準備中。他 1 件申込希望あり。

マンション等の大規模修繕業務特別委員会：開催なし・9/25 マンション見学会実施。

景観・まちづくり特別委員会：開催なし

災害時対策特別委員会：開催なし・来年度、委員募集予定。

会報誌編集特別委員会：10/15

木造特別委員会：9/27・グリーゾーン資料のまとめ。10/30 木耐震講習開催。

1/29 限界耐力講習開催

グリーゾーン冊子の取扱い：理事、支部、行政へ配布。PDF データは、一定期間が過ぎたら HP へ掲載予定。

一般向けも作成したい。

マロニエ BIM コンペかながわ 2024 実行委員会：9/20、10/5、10/15 応募数：24 作品

11/2 二次審査（過去開催の単位会へもご案内）

倫理委員会：開催なし

②次年度事業計画・予算策定のお願い（予算方針）

資料 4-2 より、平山会長、古谷理事から以下の通り説明すると共に次年度事業計画・予算策定を依頼した。

神事協 R 7 年度活動並びに予算方針

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 会長 平山正義

以下の基本方針に基づき次年度事業計画及び予算編成をお願いします。

前提条件

■経営の安定化

昨年来要望してきた「建築事務所の登録業務料金」の見直しは令和 7 年度中の実施が予定されています。

■会員増強と魅力づくり

建築事務所の業務の訂正な運営と健全な発展を目指し、サポセン（会員サポートセンター）にとどまらず各種サービスを充実させます。

■持続可能性

事務局の負担を減らし、運営を効率化しながら組織の持続可能性に取り組みます。

■緊縮財政とコスト意識（黒字経営）

コンパクトで利益を生むための活動の内容とコストパフォーマンスの追求を意識してください。

基本方針

1. 会員サービスの充実

会員サポートセンターのコンテンツの早期充実を図り、同時にすべての委員会活動を見える化し魅力を発信します。

2. 支部活動の充実と本会との連携強化

近隣支部やブロック間での協力によって、支部活動を活性化させます。本会は、支部活動を支援します。

3. 創立 50 周年に向けて

令和 8 年（2026 年）度の 50 周年に向けて実行委員会を立ち上げ準備を開始します。

4. 建事協（一般社団法人かながわ建築設計事務所協会）との関係

10 年来、神事協と別に活動している「建事協」との関係を整理し、業務委託者と会員に分かりやすい体制に再構築します。

＜予算策定スケジュール＞

提出締切：11月29日

各委員会プレゼン（統括委員長会）：12月19日

意見交換（理事会）：12月19日

再調整・修正提出：1月27日

予算案審議（理事会）：3月21日

5 日事連関係の報告

①令和6・7年度 委員会委員等について

・資料5-1により、当会関係者について以下の通り報告。

（1）総務・財務委員会 担当副会長 白井 勇（当会相談役）

・会員サービス検討WG（建賠保険担当含む） 主査 白井 勇（当会相談役）

・事務所登録電子化対応WG 委員 白井 勇（当会相談役）

委員 酒井 弘幸（当会専務理事）

（2）業務・技術委員会

・適合証明・既存住宅状況調査専門委員会 委員 山口 雄（当会副会長）

・業務報酬及び官庁発注検討WG 委員 平山 正義（当会会長）

・BIMと情報環境WG 委員 山口 英生（当会副会長）

（3）広報・渉外委員会

・会誌編集専門委員会 委員 小泉 厚（当会理事）

（4）法制度対応特別委員会 委員 白井 勇（当会相談役）

6 その他

（1）行事日程等

・資料6-1により、古谷理事から主な会議等の予定を確認するようお願いした。

理事会：11/21、12/19、2025/1/16、2025/2/20、2025/3/21

建事協に係る集中審議：11/21 13:00～15:00

統括委員長会：12/19 13:00～15:00 賀詞交歓会：2025/1/23

（2）その他

①『相模原 城山周辺の山とまちあるき』案内

資料6-2により、杉本理事から説明し、参加を依頼した。

日 時：2024年11月9日（土） 集合9時15分 解散17時00分
見学場所：若葉台住宅～小松城址～城山湖（本沢ダム）～峰の薬師～三井大橋（吊り橋）
～城山ダム
参 加 費：2,000円

②「安心な老後を迎えるための経営計画・税務を学ぶ」WEBセミナー案内

資料6・3により、永島理事から説明し、参加を依頼した。

日 時：令和6年11月19日（火） 15:00～17:00（予定）
内 容：「安心な老後を迎えるための経営計画・税務を学ぶ」（仮）
受講料：2,000円

③「被災住宅建築士相談員」「被災住宅技術相談員」募集説明会のご案内

永島理事送付資料により、永島理事から説明し、参加を依頼した。

横浜会場 11月5日（火）15:00～17:00 神奈川県建設会館講堂
川崎会場 11月25日（月）17:45～19:45 川崎市中原市民館第2会議室
厚木会場 12月3日（火）15:00～17:00 プロミティ厚木D会議室
内 容：被災住宅に対する支援
災害時住宅相談体制と相談員の派遣
被災住宅相談の内容（風水害を中心に）
被災マンション対応
参加費：無料

○定款第47条により出席した会長及び監事は、議事録に記名押印しなければならない。

会 長	平山 正義	印
監 事	平野 武洋	印
監 事	山本 敏夫	印
監 事	椋 茂廣	印